

有水中学校だより



HPのQRコード



令和6年12月2日

☆ 最後まで走り抜く ～ 長距離走大会 ～

11月29日(金)、長距離走大会が有水中学校内で実施されました。朝は小雨が降っており、グラウンドやコースの状況を心配しましたが、午後から晴れ間も見えて実施できました。開会式は、肌寒い風の吹く中で行いました。参観に来られていた保護者や応援に来てくださった地域の方々に見守られ、女子の長距離走が始まりました。自分の目標を胸に、全体を引っ張っていく生徒、じっくりと自身のペースを意識しながら走る生徒。いろいろな挑戦が各場面で見られました。特に最後のグラウンドに入ってから駆け引きは意地がぶつかり合っていました。

男子は、軽快な足運びで、スピードを上げ、駆け抜ける生徒、5km完走を目指して最後まで粘り強く走る生徒。生徒がこれまでの練習を意識して走っているなと感じました。

今回開会式の校長の挨拶の中で、「今日の長距離走は保健体育の練習とは違い、決められた距離をしっかりと走り抜く競技です」と話をしましたが、全員が完走し、全校の目標は達成できました。自分の限界に挑戦することで、新たな可能性を知り、自信につなげてくれたらと思います。



☆ 自分の世界を広げたもの ～ 小中高生意見発表大会 ～

11月19日(火)、都城市総合文化センターにて、地区生徒指導連絡協議会が主催する小中高生意見発表大会が開催されました。本校から大西風優香さんが「自分の世界を広げたもの」という題で、発表を行いました。自身が興味をもった北方領土問題について、実際に北海道に行き、体験したことについてでした。そのことから『知らなかった歴史や現状を深く学び、新しい知識を得ることができた。自分の視野が広がり、これまで考えもしなかったことにさらに興味をもつことができるようになった』など、行動することの大切さを話してくれました。会場にはたくさんの保護者や小中高生が参加し、本校の新生徒会役員3名(的場友杏さん、阿多克己くん、竹下莉雅くん)も参加しました。次年度に向けて、新生徒会役員も良い刺激をもらったのではないのでしょうか。

都城地区小・中・高生意見発表大会

